

報告 スマート農業技術の開発・実証プロジェクト「阿蘇イチゴ」第1回見学会を開催

令和2年2月4日(火)にJA阿蘇中部野菜センター(阿蘇市)において、スマート農業技術の開発・実証プロジェクト「阿蘇イチゴ」第1回見学会を開催し、行政関係者や生産者など、ほぼ定員いっぱいの45名の参加がありました。

この見学会は、イチゴ生産におけるスマート農業の普及を推進する目的で行われるもので、プロジェクトの進行管理役の曾根一純イチゴ育種グループ長が、導入した自動選別パック詰めロボット、局所適時CO₂施用技術、ハウス内環境モニタリングシステムなどについて概要説明を行いました。

その後、自動選別パック詰めロボットの実演があり、AIにより識別されたイチゴが、ロボットアームによって正確にレーンの受け皿に運ばれていく様子が示されると、参加した行政関係者や生産者、JAなどの職員は、熱心にメモを取りながら意見交換を行っていました。



▲自動選別パック詰めロボットについて意見交換を行う参加者

表彰・受賞

受賞

氏名	所属	名称	受賞年月日	受賞課題
深見公一郎	生産環境研究領域	2020年度 日本農作業学会学術賞	令和2年3月22日	九州・沖縄地域における圃場の土壌物理性解析に基づく土地利用型作物栽培の省力・低コスト化技術の研究
鈴木崇之	地域戦略部	2020年度 日本農作業学会学術奨励賞	令和2年3月22日	暖地における加工用ホウレンソウ刈取再生栽培法の開発
大木信彦	作物開発利用研究領域	2019年度 日本育種学会奨励賞	令和2年3月28日	非選好性に着目したダイズハスモンヨトウ抵抗性に関する遺伝育種学的研究

紹介 農研機構 カンキツ新技術・新品種研修

カンキツ産地の競争力強化のためには、革新的な技術の実用化と体系的な産地への導入が必要で、新技術を習得し導入を主導する担い手の育成が不可欠です。そこで、農研機構で開発している新技術・新品種に関する研究成果に加え、カンキツ栽培・営農の基礎となる知識や技術を総合的かつ体系的に習得できるように、2年間で10回のカリキュラムを組み、研修を行っています。令和2年度は、日進月歩のスマート農業技術の紹介に加え、生産現場で取り組んでいる課題の推進に役立つように研修を実施する予定です。研修では、講義や総合討論に加え、実演、実習、先進地における現地検討を行います。

カリキュラムは表のとおりです。本研修は、生産者、JA技術者、民間企業の方など日本国内の果樹産業に従事している方を対象としています。講義の一部を公開する場合は、開催日の1か月前を目途にホームページ上で

ご案内します。

表 令和2年度の研修開催予定

研修テーマ	開催予定日
第1回 高品質生産のための水分生理とマルドリ方式による水分管理技術のスマート化 第2回 カンキツ栽培における病害虫防除技術と鳥獣害対策	2020年7月15日(水)~17日(金)
第3回 気候温暖化に伴い発生が予想される諸問題と対応	2020年9月9日(水)~11日(金)
第4回 カンキツ生産におけるスマート農業技術の開発と産地への体系的な導入	2020年10月14日(水)~16日(金)
第5回 果樹栽培における省力的で安全な作業に向けた機械・技術と次世代の栽培体系	2021年3月3日(水)~3月5日(金)

開催場所：第1回、第2回、第5回は農研機構九州沖縄農業研究センター口之津カンキツ研究試験地(長崎県南島原市)、第3回は鹿児島県出水市、第4回は長崎県佐世保市を予定
 ※新型コロナウイルスの感染拡大状況等により、開催中止や日程の変更をすることがあります。

イベント

九州農政局「消費者の部屋」 特別展示「米粉の魅力」に出展

九州農政局消費者の部屋における特別展示に出展協力し、九州農研が開発した多収品種「ミズホチカラ」など「米粉パンに向くお米」の説明パネルを展示しました。また、一般品種に比べてずっしりとした稲穂や、民間会社から販売されている米粉製品等の展示を行い、消費者の部屋を訪れる一般の方へ研究成果の紹介を行いました。

九州農政局消費者の部屋は、熊本地方合同庁舎（熊本市）1階ロビーにあり、年間を通じて食料農業・農村に関する施策の情報提供などを行っています。

今回の企画は、「米粉の魅力」と題したテーマで2020年4月6日（月）～24日（金）までの間行われ、米粉の優れた特性や、パン用・菓子用といった米粉製品への用途別の表示やノングルテン米粉等の活用方法について紹介す

るもので、その一環として農研機構の研究成果の紹介も行いました。



▲ミズホチカラの稲穂（上）と
米粉製品の展示

イベント

一般公開のご案内

農研機構九州沖縄農業研究センターは、地域の皆様に研究成果を紹介するために毎年秋に「一般公開」を開催しています。

本年も、人気の「芋掘り」やミニセミナー、研究成果の紹介などの催しを開催する予定ですので、是非ご来場くださいますようお願いいたします。

なお、本年は新型コロナウイルス感染拡大防止により、開催内容の変更や中止をする場合もございます。また、天候の急変により、やむを得ず中止にする場合があります。いずれの場合も決定後すぐに当センターのホームページにおいてお知らせします。

<http://www.naro.affrc.go.jp/laboratory/karc/index.html>



▲前回の一般公開の様子（都城地区
2018年11月撮影）

◆一般公開（合志地区）のご案内

日時 令和2年10月17日（予定）
9時30分から14時30分
会場 九州沖縄農業研究センター合志本所
〒861-1192 熊本県合志市須屋2421
参加費 無料

◆一般公開（都城地区）のご案内

日時 令和2年11月（予定）
9時30分から14時30分
会場 九州沖縄農業研究センター都城研究拠点
〒885-0091 宮崎県都城市横市町6651-2
参加費 無料

九州農研

NO.64 2020.7
ニュース



編集・発行／国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）九州沖縄農業研究センター
住所／〒861-1192 熊本県合志市須屋2421 ☎096-242-7530
<http://www.naro.affrc.go.jp/laboratory/karc/>